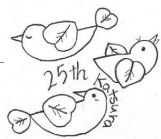
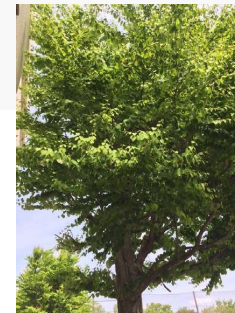


# 幼保小連携推進地区 桂地区 令和2年度の活動報告



横浜市立桂小学校

1. 推進テーマについて
2. 連携推進事業の実際
3. 成果と課題



## 1 推進テーマについて

### 育ちと学びの円滑な接続を目指して

#### ◇設定の理由

その1: 近隣の幼稚園、保育園に限らず、**20以上の園から入学**してくること

多くの子どもたちは、1人、あるいは2人程度で入学してくるのが現状。  
慣れ親しんだ環境を離れ、新しい環境で人間関係を新たに築くことになる。



## 1 推進テーマについて

### 育ちと学びの円滑な接続を目指して

#### ◇設定の理由

その2: **幼児期の子どもの育ちや生活を**(教師が)きちんと理解する

- 子どもが無理なく小学校生活に移行できる接続期カリキュラム(スタートカリキュラム)の編成
- 焦らず、指導できる(教師が)心のゆとりをもつ



保育や教育の内容を知り、よりよい交流のあり方やカリキュラムを検討することで、円滑な接続が期待できる。



## 1 推進テーマについて

### ◇推進内容

- 職員交流(情報交換・参観・講習・研修)……教育内容を知り、子ども観を共有するために
- 園児と児童の交流……スムーズな接続につなげるために



## 2 連携推進事業の実際

### 職員交流

#### 【第1回推進委員会】 9/7(月)

コロナ禍の休業等を受け、年度当初の予定からかなり遅れたが、職員の顔合わせを行った。テーマや今後の方向性、年間計画について話し合い、子どもの様子について懇談した。この状況の中でもできることに取り組んでいこうという確認ができた。

#### 【幼保小連携推進地区事業連絡会】 9/30(水)

もみじ保育園副園長、校長が参加し、今後の活動について話し合った。



## 2 連携推進事業の実際

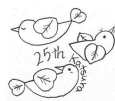
### 運動会

#### 【保育園運動会】 9/26(土)

あいにくの雨で中止

#### 【小学校運動会】 10/17(土)

園の職員が参観して下さった。  
卒園した児童の育ちに目を向け、情報交換できるよい機会となった。



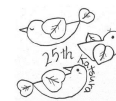
## 2 連携推進事業の実際

### 作品交流

#### 【校内作品展】 <作品交流①> 11/30(月)～12/4(金)

個人面談に合わせた児童作品展の期間に、園児の作品を借り受け校内に掲示した。児童が鑑賞する際には、園児作品も鑑賞するように呼びかけた。

園の職員も来校し、参観して下さった。  
園では小学校に持って行くことを伝えたとこ、意欲的に作品作りをしたり、持って行ってほしい気持ちを伝えたり、小学校への期待が高まっている様子が見受けられた。



## 2 連携推進事業の実際

### 作品交流

#### 【保育園作品展示】 <作品交流②> 2/16(火)～2/27(土)

1・3・6年児童の作品を園内に展示していただいた。

1・3年の作品は、もみじ保育園の卒園児のものを持って行ったことで、職員や保護者に卒園した児童の成長を見ていただいたり、在園児も親しみを感じたりしていたようである。年長児も小学校への期待がさらに高まっている様子が見受けられた。



## 2 連携推進事業の実際

### 交流活動

#### 【1年生年長児交流会】 <交流活動①> 3月上旬予定

例年行っている交流活動がコロナ禍で行えないため、小学校の様子を伝える手紙、ビデオなどを交流園2園の年長児に送ることを計画している。

そうすることで、1年生は自分の成長に気付くとともに、年長児が入学してくること、学年が上がることへの期待感を高める。  
年長児は、安心して入学するための一助とする。

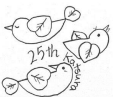


## 2 連携推進事業の実際

### 交流活動

#### 【3年生によるビデオレター】 <交流活動②> 3月上旬予定

国語科の学習にある「わたしの学校自まん」と絡めて小学校を紹介するビデオを近隣の保育園の年長児に送ることを計画している。



## 2 連携推進事業の実際

### 職員交流

#### 【保育園保護者会参加】 2/26(金)予定

保育園の保護者会で校長講話

#### 【第2回推進委員会】 3月下旬予定

年間振り返り・次年度計画



### 3 成果と課題

---

#### ◇成果

今年度は、コロナ禍の休業や感染症拡大防止の影響が大きく、年度当初に計画していたことができないことが多かった。

しかし、その中でできることを手探りで行ってきた。

新しく作品交流や校長講話の機会を得て、来年度につながる取組ができたと考える。

#### ◆課題

今後は、今年度できなかった職員交流を始め、具体的な取組を行うための情報交換の機会を増やし、全職員で幼保小の連携ができるようにしていきたい。

